

2015年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	生物環境科学科						
科目名	ライフデザイン Life Design						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	1年次前期		
必修・選択の別	必修科目(バイオサイエンスコース) 必修科目(食品生物資源コース) 必修科目(エネルギー・環境コース)						
担当者	アウトソーシング(学研メディコン:嶋田 文広)(学内担当:日高 健)						
授業の到達目標(シラバスから)	①人間関係能力の醸成-他との関係を磨きその中で自分を活かす ②意思決定能力の醸成-最善の決定をしてその結果に対応できる ③キャリア設計-自らのキャリア設計を実現する能力を身につける ④キャリア情報検索・活用能力-自分や家庭、仕事、社会への理解を深める ⑤良い習慣を身につける-主体性を持って、時間管理やビジネスマナーを身につける						
日程と内容	第1回 授業の目的と受講ルールの説明-「なぜ、キャリア教育が必要か？」 第2回 Being① - 他者理解とチームビルディング 第3回 自分マッピング - マインドマップを使った自己表現を学ぶ 第4回 大学で学ぶこと - 人生(大学生活)は成功する体験と〇〇体験 第5回 Being② - 自分の壁を越えられるか 第6回 Being③ - 何のための大学生活なのかを見つめよう 第7回 Being④ - 大学生生活を創造しよう 第8回 Being⑤ - 大学生生活のマネジメント 第9回 人生の先輩から学ぶ① - 夢は僕らのロケットエンジン 第10回 ヒューマン・コミュニケーション - 多様な価値観を学ぶ 第11回 プレゼンテーション・ワーク - 学部学科の魅力プレゼン 第12回 グループワーク① - 対人関係の技能を高める 第13回 グループワーク② - 相違点を尊び、合意点を指す 第14回 人生の先輩から学ぶ② - 先輩インタビュー(4年生登場) 第15回 キャリアデザイン - 社会人基礎力診断と人生と職業を考える						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート	40%		プレゼンテーション			
	課題	60%					
	演習			計			100%
授業到達目標の達成度	今期のライフデザインのプログラムの特徴は初年次適応に重点をおきました。「仲間作り」「チームビルディング」「自己理解」というキーワードを中心としアクティブラーニング主体の授業展開により、対人関係技能の向上やキャリアデザインへの気づきと体験を実践しました。毎回提出するミニツツレポートの内容と授業態度の変化を見ると人間関係能力とキャリア設計能力は確実に向上しました。						
反省点	アクティブラーニング主体の授業展開を行いました。固定した机でのグループワークになるので、姿勢や態度などを保つことが難しい状況になる場面が見受けられた。ただし、後半に進むにつれて、慣れてきて、うまく展開できるようになりました。ワーク終了後の振り返りを取るために、毎回の課題レポート用紙の記入時間の十分な確保できない回があったことが反省点です。						
来年度の計画	「職業的進路選択能力の向上」と「コミュニケーション能力の向上」がメインになると思います。学生が自分のキャリアをデザインする力を持つことと対人関係の技能とチームビルディングを主体に授業を構成が必要。「体験学習サイクル」型のプログラムを授業展開になる。テーマに沿ったアクティブラーニングはもちろん実践しますが、学習サイクルをきちんと回すことを繰り返し行うことで、生きた学びの習慣化を定着させる必要がある。						
授業評価アンケートに対するコメント	社会人基準の授業ルールを徹底させることで、遅刻や挨拶等の規律性を高めるようにしました。授業アンケートの自由記述欄では、最初は厳しいと感じたが、遅刻で授業が中断したり、私語もない環境で授業を受けることができたという感想が多くありました。ライフデザインならではの内容や課題に取り組めたことが評価されていました。授業評価をみると授業への満足度は高かったと認識しています。ただし、事前事後学習の評価点が低かったことを反省して、次年度は事前事後学習の課題を適切に授業にフィードバックする必要があります。						
履修登録者数	66名	定期試験 受験者数	66名	合格者数	64名	合格率	97%